

学年	高校 3 年	教科	英語	科目	論理・表現Ⅲ	単位数	4
教科書名		Vision Quest English Logic and Expression（数研出版）		副教材名	・ CLOVER 英文法・語法ランダム演習 入試標準(数研出版) ・ Reading Core 3（啓隆社）		
コース・クラス		選抜文系					

I. 目標

1. 難関私大レベルの入試で実際に出題された文法・語法問題のレベルや傾向の把握を目指す。
2. 卒業時までには実用英語検定2級以上及びCEFR B1～B2レベルの英語力の習得を目指す。
3. 選択・整序・正誤などの文法問題演習においては、これまで学習した文法・語法・構文の知識を自在に操れるようにすることを目指す。
4. 英作文においては、文法・語法・構文の知識を駆使するだけでなく、自然な英語表現を使った作文を目指す。

II. 授業のねらい

1. 難関私大の中でも大学間によって出題傾向や難易度に差が見られるのが現状である。しかしながら、難関私大でも、文法の発展問題が出題される実情を考慮し、問題に正しく解答することができるように、どのポイントが問われているのかを即座に見抜く力を身に付けさせる。
2. 文法、イディオム、会話表現、語彙に関して難関私大入試問題で問われる表現の知識を増やし定着を図る。
3. 学習指導要領に謳われ、かつ日大基礎学力到達度テストや大学入学共通テストで問われる「目的に合わせて必要な情報を読み取る力」、「書き手の意図を理解する力」、「概要や要点をとらえる力」、「論理的な文章を構成する力」、「資料を読み、考察する力」、「情報を整理しながら読む力」、「文章を要約する力」を養成する。
4. 教科書や副教材で扱われた知識を土台として、発展問題の演習を通じて、難関私大入試レベルの力をつける。

III. 授業の進め方

1. 各レッスンで構成されている問題(四択、正誤指摘、会話問題や整序英作文など)に解答する時間を与える。
2. 上記1の応用として、難関私大レベルの発展問題に解答する時間を与える。
3. 週に数回程度まとまりのある英文を読む機会を設け、解答する時間を設ける。
4. 定期的な小テスト、課題提出を課す。

IV. 学習上の留意点

教科書や副教材で学んだことを土台に、難関私大の入試で問われる発展問題に取り組ませる時間を設ける。

V. 定期試験

1. 授業で扱った内容、指定した教材の範囲から主に出題する。
2. 初見実力問題と難関私大で過去に出題された入試問題と同じ問題形式で一部ずつ出題する。
3. 学習した内容の理解と定着の確認、さらに実践力を高める機会となるように意図して作成する。
4. おおよその試験範囲

1学期 中間試験 : Lesson1～4、第1回～第6回、初見実力問題

1学期 期末試験 : Lesson5～8、第7回～第12回、初見実力問題

2学期 期末試験 : Lesson12～15、第18回～第24回、初見実力問題

VI. 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物の提出状況と内容、授業の取り組み方などから総合的に評価する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	※日大基礎学力到達度テスト対策特別授業	定期試験 小テスト 提出物	・英文法・語法問題で問われているポイントを見抜いて、解答できるようになる。
	5	【CLOVER】 Lesson1～4 【Reading Core 3】 第1回～第6回		・四択問題や正誤問題において正しく解答するために注意すべき各文法項目の基本事項や重要項目、問われているポイントを理解する。 ・同義語句の選択または記述問題では、頻出の語彙や語法の使い方が分かるようになる。
	6	【CLOVER】 Lesson5～8 【Reading Core 3】 第7回～第12回		・整序問題は、対応させる和訳と英語表現との表現方法の違いに注意しながら、英文法・語法、語彙などの総合的な実力を運用して解答していく力を付ける。 ・広告、記事、グラフやチラシなどの多種多様な英文を読むことを通して実践的な英語の読解スキルを身に付ける。
	7	<夏休みの課題> 【CLOVER 残り全て】 (Lesson9～15) 【Reading Core 3】 (第13回～第17回)		・解答後、間違えた問題や知らなかった語彙や表現、文法事項について復習をし、知識や理解を定着させて次回には正しく解答することができるようになる。 ・難関私大レベルの発展問題の演習を取り入れることで、既習事項の応用力を養う。

二 学 期	9	※日大基礎学力到達度テスト対策 【CLOVER】 既習項目をランダムに演習 【Reading Core 3】 第 18 回～第 24 回	定期試験 小テスト 提出物	・英文法・語法問題で問われているポイントを見抜いて、解答できるようになる。 ・四択問題や正誤問題において正しく解答するために注意すべき各文法項目の基本事項や重要項目、問われているポイントを理解する。
	10	到達度テスト以降は、難関私大レベルの発展問題を扱う授業を展開する。		・同義語句の選択または記述問題では、頻出の語彙や語法の使い方が分かるようになり、確実に定着させる。
	11			・整序問題は、対応させる和訳と英語表現との表現方法の違いにも気づきながら、英文法・語法、語彙などの総合的な実力を運用して解答していく力を付ける。
	12			・広告、記事、グラフやチラシなどの多種多様な英文を読むことを通して実践的な英語の読解スキルを身に付ける。 ・解答後、間違えた問題や知らなかった語彙や表現、文法事項について復習をし、知識や理解を定着させて次回には正答できるようにする。 ・難関私大レベルの発展問題の演習を取り入れることで、既習事項の応用力を養う。

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。